

令和元年度 第3回脊振町公共交通検討会議 議事録

開催日時	令和元年10月7日（月） 19時00分～21時30分	
開催場所	脊振公民館 大会議室	
出席者	委員	鶴田会長、花田か副会長、牟田委員、志波委員、山崎委員、大澤委員、坂井委員、廣瀧委員、倉谷委員、梅崎委員、音成栄委員、田中委員（代）、花田健委員、芦原委員、森崎三委員、内村委員 24名中 16名出席
	オブザーバー	佐賀県さが創生推進課 久保参事、石崎係長、稲富主事
	事務局	総務企画部企画課 中島企画調整担当理事、實松課長、篠木係長 教育委員会学校教育総務課 牛島課長、鶴係長 脊振支所総合窓口課 松本支所長、森田参事
	傍聴者	0名
議事	（1）第2回会議の振り返り （2-1）協議事項：バス停位置について （2-2）協議事項：ダイヤについて	

- 1 開会
- 2 あいさつ（鶴田会長）
- 3 議事

（議長）

それでは、私が議長ということで進めさせていただきます。

今回の会議についても佐賀県さが創生推進課の石崎係長に議事の進行をお願いしたいと考えていますが皆様いかがでしょうか。

承認される。

それでは石崎係長、進行をお願いします。

（石崎係長）

皆さんこんばんは。佐賀県さが創生推進課の石崎です。前回から引き続き司会進行ということですのでよろしくお願いします。

それでは会議次第にありましたように、第2回会議の振り返りと協議事項としてバス停の位置、ダイヤについて協議をすることになります。

まず、第2回会議の振り返りについて事務局より説明をお願いします。

（1）第2回会議の振り返り（事務局）

資料により説明

（進行）

前回、第2回の会議の振り返りということで説明がありました。今の説明で皆様から確認したいことがありましたらお願いします。

（委員）

前回、参加できなくて、分からなかったのでお聞きします。日中は予約制でデマンドタクシーを運行するとなっているが、デマンドタクシーとは何ですか。

(事務局)

運行形態で通常の定時定路線と、デマンドタクシー等ということで説明をさせていただきました。定時定路線というのは決まった時刻に決まったルートを実行していくものです。予約制のデマンドタクシーというものは、あらかじめ運行のエリアを決めておいて、例えば広滝を中心として倉谷方面に行く便、脊振山麓に行く便、鳥羽院に行く便とある程度の運行区域を決めており、運行区域と運行時間帯を決め、事前に予約をいただいた時のみ運行するといった形です。予約があった時のみ動くという形になっています。

(進行)

他に何かありましたらお願いします。

それでは前回の振り返りについてはご意見がないようですので、続きまして、協議事項のバス停の位置とダイヤについては、続けて事務局の方から説明をお願いします。

(2-1・2) 協議事項：バス停位置について・ダイヤについて (事務局)

資料により説明

(進行)

説明ありがとうございました。大分具体的な内容になってきているかと思います。具体的な中身になると皆様からいろんなご意見が出てくるとと思いますが、順を追って協議事項を進めていければと思っています。

まず、協議事項2-1のバス停についてですが、一つ一つ皆様からご意見を頂ければと思うのですが、資料2ページの左側の三瀬・神埼線路線バスで今の昭和自動車のバス停が書かれていますが、例えばバス停を追加した方がいいのではないかとか、バス停の位置がここではまずいのではないかとか、そういったご意見があればお願いします。

(委員)

バス停についてですが、上一番ヶ瀬だけでなく、下一番ヶ瀬もあるはずなので入れなければいけないと思います。それと、村境の所に鳥羽院入口とありますが、クリーンセンターの入口なのでそういう具体的な名称に変えられるかお尋ねしたい。

(進行)

ご意見ありがとうございます。

まず、下一番ヶ瀬は単純に漏れているだけなので、バス停としては残ります。

鳥羽院入口はバス停の場所を変えた方がいいのか、名称を変えるということですか。

(委員)

バス停の位置ではなく、名称を変えるということです。

(進行)

事務局どうですか。

(事務局)

クリーンセンターの入口にあるバス停が鳥羽院入口となっていると思いますので、会議の中でご意見があったので、分かり易いのは施設がある場所のクリーンセンター入口というのがいいという考えもございますので、こちら変更というところも考えたい。

(事務局)

バス停の名前の変更ですが、ここが県道三瀬神埼線になっていますので、土木事務所へ書類を出して占用許可を取って鳥羽院入口とさせていただきます。それと運輸局に運行許可を取っております。その時にルート図とか、ダイヤとか付けているバス停の名称が鳥羽院入口となっています。土木事務所の方は変更の申請をして許可を受ければ変えることができます。また、

新たな運行で運輸局に出す書類についても、クリーンセンター入口で申請の書類を出して許可をいただければバス停の名称は変更できます。許可を頂ければ変更はできるということです。

(進行)

名称の変更ができるということなので、できるだけ皆さんに分かり易い名前の方がいいのではと思うので、その辺は積極的に事務局の方でも考えていただければと思います。
他に路線バスの方でご意見があればお願いします。

(委員)

路線バスですけど、神埼地区の仁比山神社から平ヶ里までの住民の方への周知連絡はされているのかどうか。
それと先ほどの下一番ヶ瀬のバス停の件の回答を併せてお願いします。

(進行)

脊振地区ではない神埼地区の住民さんへの周知と、下一番ヶ瀬の件と併せて事務局よりお願いします。

(事務局)

まず、下一番ヶ瀬のバス停ですが、この資料で抜けてしまっているだけで、実際バス停がございますので、実際の運行のバス停の位置については下一番ヶ瀬のバス停が入っているという形で続けさせていただきたいと思います。資料で抜けていて申し訳ありませんでした。
仁比山、神埼町の地区の方への周知につきましてですけど、今年度初めの区長会で再編という話をさせていただいております。実際の再編の内容等については、脊振町の会議の方で正式に協議をさせていただいた後、全体的な周知という形を考えさせていただいております。事前に運行する一定の前には神崎市全体に周知の方を改めてさせていただきたいと考えております。

(進行)

フリー降車という制度についても説明があったかと思います。今、広滝から三瀬についてはバス停じゃない所でもここで降ろしてくれと言えば運転手が停めてくれることとなっています。これは事務局の方で今後も引き続きできるように警察と協議をしたいということでした。このあたりも含めて何かご意見がありましたらお願いします。

それでは三瀬・神埼線についてはよろしいですか。ありがとうございました。

次に右側の通学バスのバス停に関して、追加とか変更とかいろんなご意見があるかもしれませんので、ご意見の方を出していただければと思います。

(委員)

Bコースですけど、頭野は子供がいない状況で、一番下は0歳で学生になるには5、6年かかるので、一時休止というか不要だと、その子供が大きくなって小学生になって利用するときに再度お願いするというようにすれば、ガソリンとか節約になるのではないか。そういう所があれば、実際乗ってなくて空で走ったりしている。非常にもったいない。市の予算も国民の税金からなっているものですから、有意義に使うという意味では、少しの無駄と言っては言い過ぎかもしれないですけど、それを節約できるのはしていった方がいいのではないか。他にもそういったものがあれば皆さんからご意見を出していただきたいと思います。

(進行)

財政の負担的なところまで気にしていただいたご意見だと思います。
子供さんがいないということですが、高齢者の方とか一般の方も乗ることは可能ですけど。

(委員)

朝、夕のことでしょう。朝、夕の利用はない。

(進行)

朝、夕は特に子供以外の方は需要が無いということですかね。

(委員)

そういう意味からすれば他の集落にもありますよね。

(委員)

今、頭野の区長さんが言われましたとおりのところもありましようけど、今後は私たちも間もなくこの便にお世話にならなければいけない状態になろうと思いますので、児童、生徒ばかりじゃなくて、高齢者のことも考えての便だろうと思いますので、この計画でいいのではないかなと思っています。

それともう一つは、先ほども説明がありましたけど、デマンドについてもバス停まで迎えに行くという前提で書いてありますけど、今、バス停じゃなくて、バス停が欲しいところもある。前回も提案したんですけど、新設のバス停についてはこの場でいいんでしょうか。

(進行)

ご意見ございましたら言っていただいて結構です。

(委員)

鳥羽院地区ですけど、ひのさとの公民館があるんですが、ここが集会の場所になっていて、ここで降ろしてはもらうが乗ってはいけないという前提がありますので、そういう面からするとバス停を作っていただきたいということで、地区の方からも要望があっています。新設になりますけどお願いしたいと思います。

(進行)

今のご意見は、子供だけでなく他の方も利用することが考えられるので、現状の路線でいいのではないかなというご意見と、ひのさと公民館にバス停を新設してほしいというご意見ですが、事務局いかがでしょうか。

(事務局)

まず、頭野は今のところ利用者がいないのでそこを通らずに行き、また必要が出てきたときに増やすということです。

(委員)

デマンドがあるのでわざわざ朝一でなくていいのではないかな。デマンドがあれば高齢者の方も対応可能ではないかな。

(事務局)

他の地区にも利用が無いバス停があって、削れるところは削った方が経費の節減にもなるというところで、そういったことも重要なことと考えております。ただ今回すぐに全部を削って今必要な分だけにして、必要なところが出てきたらその都度変えていくということも考えられるんですけど、まず今考えさせていただいているのは全体的な現状を確保していく中で利用の促進を図りながら、どんどん検討をしていくという形で考えさせていただいています。

(委員)

削除ではなく、残していただいて休止というところに残ってはいくようをお願いしたい。

(事務局)

市としましては各バス停毎の利用者の実態調査とかを踏まえながら、調査の結果によって全然利用者がいないところなど、ここは必要ないんじゃないのかなというところも、ゆくゆくは考えられていくのかなというところで考えています。最初からすべて何でもかんでもというところがなかなか難しいところもございますので、実際今の便で運行させていただいて、結局利用者が少なかったとか、現在利用する子供たちがいないとかというところも検討が必要というところで、今回ご意見として伺わせていただきますけど、また改めて全体的なところを検証させていただく場というのを再編後に定期的に会議を踏まえながら設けさせていただきたいと考えております。

それと同じような形で、全体の所を変えるにあたって、委員さん言われました、ひのさとでの利用者が多いですので新しく加えたいというところも、休止する分と新しく加えていく分というところを、こちら継続していく路線になりますので、その中で定期的な見直しをしながらその時その時にあったバス停とか路線とかいうのを皆さんと一緒に構築させていただけたらと考えさせていただいております。ひとまずは現在の分で1回運行をさせていただき、継続をしていくというところが大事になってきますので、継続をしながら皆様に利用をしてくださいとお願いをした中で、利用が少ないところは休止をしたり削ったり、また、新しく必要な需要があるところは増やしたりというところを皆様と考えていきたいと考えております。

(進行)

事務局から説明がありました。今の説明はバス停を減らすのも路線を削るのも4月1日の運行に間に合わせるのではなくて、運行を始め様子を見ながら皆様のご意見を聞いて全体的な調整をしていこうということで大丈夫ですかね。

その他、脊振の通学バスのバス停に関してご意見等ございましたら。

(委員)

広滝のバス停に住民の方から防犯カメラを設置してほしいという要望がある。脊振でも一番乗り降りが多いところで朝早くから夜遅くまで、脊振には全然防犯カメラが無い。1箇所ぐらいは着けてほしい。広滝のバス停にトイレがあって開いてなかったの、支所に要望したら今は開いているんですけど、建物の後ろでおしっこする人もいと話を聞いた。だから支所に言って今は開けてくれている。脊振の中でも一番乗り降りが多いところなので、森林組合が開いているときはいいが閉まっている時があるので、そこに防犯カメラを着けてほしいというのが住民の方の要望です。

(進行)

今の防犯カメラのご意見というのは、朝とか夕方とか暗いときにバス停で待っている人のためということですか。

(委員)

近所の人に迷惑がかからない状態ということでそういう要望があった。

(事務局)

防犯カメラの設置については市の防災担当の方で検討させてもらっています。今度脊振については複合施設を建設しますので、その壁面に付けてバス停が見えるとかそういったところは検討できるかなと考えております。防犯カメラの設置についても警察の方が大体こういうところに着けたらどうだろうかといったところもありますので、そういったところとまた協議をさせていただければと考えていますのでよろしくお願いします。

(進行)

他に通学バスのバス停についてご意見はないでしょうか。よろしいですか。

通学バスについてフリー降車ができるよう警察に事務局で協議をしていただければ、少し利便性が高まると思いますのでお願いします。

(委員)

資料２－１で備考欄に書いてあるもの、例えば倉谷回送と書いてあるんですが、その説明をお願いします。

(事務局)

それぞれ平日のダイヤの一番右側に備考という欄を設けさせていただいています。資料の２－１で説明をさせていただきます。上り１便の備考の欄には下り１便へと書かせていただいております。この下り１便というのが、下の表の下り１便に行く便となります。上り１便で神埼に行った便がそのまま待機して下り１便で脊振に行くという形のイメージでございます。何便へというのはそういった形で、上り２便の備考を見てもらいますと倉谷へ回送となっております。これは上り２便で清明高校まで行った車両がそのまま回送し、右の通学バスの表の倉谷線の２便に回送するという風な形になります。限られた車両を必要最低限の車両で効率よく回していくためにこういった形で考えさせていただいています。

(進行)

備考のところは車両の動きを書いているところなんで、特段利用者の方が気にするところではないです。できるだけ限られた車両を効率的に回していくにはどういう風に回した方がいいのかということで備考欄に車の動きを書かれているということです。

(委員)

資料２－１のＢコース鳥羽院線の経路は、広滝を出て鳥羽院、鹿路下、大楮、鹿路上を通過して広滝へ帰ってくる。

(事務局)

広滝を出発して下一番ヶ瀬、上一番ヶ瀬の方に行きまして、服巻下、服巻を通過して頭野入口、頭野で折り返して鳥羽院方面へ行きます。鳥羽院に行った後、分校前、流川内、内川久保、開拓入口、蓬原、桂木、大楮、萩野、今古賀、昌普久苑前、池の平、診療所で広滝に戻ってくる。

(委員)

資料２－１の鳥羽院線の中で「鹿路」という字が一つも出てこないの、この辺は若干の配慮が必要ではないか。例えば鳥羽院鹿路線とか。

(委員)

頭野も入れてください。頭野鳥羽院鹿路線と。一番ヶ瀬も入れてもらわないといけない。

(委員)

高齢化をして乗っていただける方の理解がしやすいような感じ、その辺まで対応した図の表示にしていいただければありがたい。

(進行)

これよりまた会議が続きますので、そういった場でも路線の名前がこれがいいんじゃないかと、その辺は皆さんで決めればいいですかね。

(委員)

９月１５日付けの佐賀新聞に載っております「三瀬地区の運行案固まる」の中にマイクロバスを佐賀市が買うということと神崎市と併用するという話がありますが、これは本当ですか。

(進行)

車両の件は確かマイクロバス２台と１４人乗り３台の計５台で三瀬線と脊振内の朝夕の路線を賄うということだったと思います。

(事務局)

この表現が代用するとか併用するとなっておりますけど、基本的には同じ三瀬線を運行するバスというところで、佐賀市も神崎市も両方使うバスというイメージになります。その中で限られたバス車両を効率的に回していくという考え方から、この路線に使うだけの車両と決めるのではなくて、もちろん今ある脊振の利用、利便性を阻害するような形では三瀬には使えませんよと言っており、脊振の使いやすいところを確保したうえで効率よく回していく中で、マイクロバスとジャンボタクシーが、もちろん脊振の方と三瀬の方にも運行するという両方で使う形です。車両の「購入」となっていますが、「導入」とするところを検討しています。車両はマイクロバスのサイズとジャンボタクシーのサイズを新しく導入をしますよという表現が購入となっています。

(進行)

私も三瀬の会議に出ています。会議の中で購入とは言っていないので、この辺りは佐賀市と神崎市でどういう風にやっていくか決めていくことになろうと思っています。

(委員)

分かりました。ありがとうございます。

(進行)

次の協議事項もありますので、バス停の件はここで終了させていただきたいと思います。協議事項2-2のダイヤについて、まずダイヤの中でも三瀬線の方、資料2-1、2-2、2-3の左側の方へのご意見になると思います。JRとか西鉄バスとかの乗り継ぎを考えられて緻密に計算されて作られていると見ていますけど、大体10分前後で乗り継ぎが可能になるような、全てがそうはできないんですが、概ね10分前後で乗り継ぎが可能になるように設定されていて、あと利用者の需要に応じて、高校生とか日中の高齢者とか部活帰りの高校生とか脊振の小中学校の方とかそういったところも需要は押さえているのかなと思いますが、平日、土曜、日曜・祝日とダイヤの案が示されておりますけどこの辺りで皆様方ご意見がありましたらお願いします。

(委員)

全戸配布のチラシで見たんですけど、脊振の小中学生がすごく減っていて、今後、複式とかひどくなったら廃校みたいなことも心配されます。その中で来年度から校区を緩やかにして同じ市内だったら脊振の小中学校に通ってもいいということで、チラシを見せていただきましたけれど、その中で基本的には父母の送迎によると書いてあったような気がしますけど、やはり一人でも多くこちらの学校に通っていただくためには、毎日ほとんどがお父さんもお母さんも勤めていらっしゃるから送迎は難しい家庭もいらっしゃるかも分かりませんので、仮にこの時間帯で上り2便が清明高校に7時21分に到着して倉谷に回送する便を広滝まで路線バスとして運行していただくと丁度いいぐらい8時前に脊振に到着するのではないかなと思う。下り1便では7時4分ですのでものすごく早いと思う。小中学生にとっては。蓋を開けてみないとどのくらい希望者がいらっしゃるか分かりませんが、今後、希望者がいらっしゃったら回送ではなくて普通の路線ということも今後考えていただけることはあり得ますか。

(事務局)

清明高校前の横武のバス停から広滝まで27分くらいかかるような形になっています。倉谷線の2便が8時37分からはなっていますので、丁度いいぐらいの時間帯になるのかなと考えさせていただきます。今後、神埼方面から通われている方が多くなって来た場合とかは、もちろんこの考えたダイヤが一番ベストな形というわけではなくて、これから利用される方が利用しやすいようにみんなで考えていくというところがございますので、その時の状況に応じて利用の時間帯というところは検討していきながら、より良い、使いやすいこの路線バス、通学バスを作り上げていくところはございますので、引き続き検討していきながら皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

(委員)

岩屋の子供たちにしか聞いていないんですけど、1ヶ月1,000円、年間12,000円で利用させてもらっていますとのことだった。神埼から小学校と中学校に通っている2人が岩政の子供クラブに参加されていて、親が送迎にもすごく大変だとしきりに言われていました。共働きで部活終わって迎えに行くのが非常に難しいと話されていました。それで始業前に間に合うダイヤと部活終わって神埼駅まで送ってもらうと助かるなという意見をされていました。それと料金が子供だから半額ですけど負担が大きいと、脊振は1年に12,000円なのに1ヶ月でそのくらいかかるという話をされていたので併せてそれも検討してもらえないでしょうか。

(委員)

料金の件は、脊振の人は過疎債から払っているのではないですか。神埼から来る人は一般財源から出さないといけない、過疎債は使えないので。

(委員)

今は昭和バスの料金で払われている。

(委員)

補助しているのは過疎債から補助しているのでは。

(事務局)

通学の補助については脊振町内に在住の方のみが対象となっております。神埼から来られる方については補助対象外ということになっております。

(委員)

補助するということであれば一般財源からで過疎債は使えない。

(進行)

今の意見は脊振の小中学校に通う方の財政的な負担の面とダイヤを合せてほしいということですね。

その前にいただいたダイヤに関しては、現状ではこれを変えていくというのは難しいみたいで、今後の利用状況を見ながら変更できる分については変更をしていきたいという事務局の意見でしたけどその辺りよろしいですか。

(委員)

9月の市報の中で1学年10人程度を募集面接しますと載っていたので、教育委員会が出されている分だと思うんですけど、増やされるんだったら、費用負担も含めてダイヤも間に合うように検討できないでしょうかということをお願いしたい。

(委員)

小中一貫校ではなく、来年から特認校ということで、特認校ということは神埼市内どこからでも脊振小中学校に希望すれば通学していいよということで、小中一貫校ではないんですが、時間帯を先ほども言われたんですが、今、脊振小中学校は少ないですね、だから今後は増えるのを見込んでバスの編成をするのであれば、やっぱり補助も見込んで脊振小中学校にできるだけたくさんの方が来ていただけるように補助も検討する課題だと思うんですが、このバスの時間を見ますと広滝に7時4分に着くということは、今現在中学生が1人バスに乗って通って来ていると思うんですが、その子がこのバスに乗って通って来ることを考えますと、あまりにも時間が変わってしまうとその子も大変だと思うので、学校に7時4分ということはちょっと早すぎるような気がするので、三瀬に合わせられると思うんですけど、三瀬中学校は特認校ではないので、もし三瀬中学校に来られる方は佐賀市内からなので、このバスを利用されることはないと思うので、まずは脊振小中学校の特認校というのを第一に考えてこの1便については

バス編成をお願いしたいなと思います。

(進行)

財政的な支援をお願いしたいというお話と、神埼から広滝、三瀬に上る1便目の時間を何とかならないかということで、下り1便でいくと今が7時10分神埼発ですので25分ぐらい前倒しに早くなって、多分いろんな他の便とのつなぎでこうなっている気がしますけど、改めて事務局としてどうですか。

下り1便を後ろにずらすとなると、全体変わってくることになろうかと思いますので。

(委員)

時間をずらすようにはできないですか。

(進行)

下り1便が7時23分に三瀬支所に到着して、これが上りの3便に行くんですけど、7時30分三瀬発ですので、この時点で7分しか間がない状況です。

少し詳細な計算が必要になるので次回の会議までに検討させていただくということでいいですか。

(委員)

もしよかったら、今、実際に通っている子がいるので、中学校とも協議された方がいいのではないですか。学校の方も都合があると思うので、7時4分だと先生も早く来なければいけなくなると思いますので。学校が開いてなくて外に待たせることになるので。

(進行)

そうすると下り1便はいらないということになりますか。6時45分神埼駅前発の便です。

(委員)

このバスを利用するのは脊振小中学校に通う子供たちになると思うので、学校の時間帯に合わせた時間とされるのならば、1便は7時4分というのは早すぎる。今、大体8時ぐらいからです中学校は。三瀬は特認校じゃないから行けないです。

(進行)

時間がかかるみたいなので、次回の会議でいいでしょうか。

(委員)

学校ともよく検討された方がいいのではないかと思います。実際通っている子が今いるので。

(事務局)

先ほど委員さんからあったように、回送便を下りの便にするとか、もうちょっと全体的な時間を調整して、始業の時間帯に併せて、もうちょっと遅らせるとかを改めて検討させていただきたいと思います。現行が7時10分に神埼駅発で広滝の方に大体19分掛けて行きますので、7時29分に広滝に着いている状況です。そこから25分早くなっていますので、また検討させていただいて、学校関係にもこちら（検討会議）の方でご意見を聞いて、学校に聞くというのもありましょうし、学校の意見を聞いて、こちら（検討会議）に聞くというやり方もありますので、参考にさせていただきたいと思います。

(進行)

財政的な支援という話も教育委員会で検討ということでもいいですか。

(事務局)

はい。

(事務局)

他に三瀬線のダイヤについて。

(委員)

育友会の方からになりますけど、会長から意見を預かってきていますのでお伝えします。平日の下りの4便に特化した話になりますけど、広滝に14時30分ごろに着く便があるかと思いますが、高校生のテストの期間中の話ですが、正午前後にテストが終わって2時間から2時間半、待つしかなく、なかなか昼のお迎えが難しいとの声がありまして、土曜日の便を見ますと13時過ぎの便がありますけど、こういう時間帯にならないだろうかと申し伝えてくれということをお預かってきましたので申し上げさせていただきました。これにつきましてはデータを見ると30人ほど脊振の高校生がいるようなデータをいただいていますけど、皆さん全てのご意見ではないかと思いますが、育友会としては今後、時間帯を協議していきたいと会長が申されておりましたのでお伝えさせていただきます。

(進行)

今のご意見は下り4便の時間をもう少し早めてくれとのことですね。このあたりも今すぐは難しいと思うので、事務局の方で検討をしていただければと思います。なかなかダイヤというのが運転手の拘束時間とか休憩時間とかいろんなものが関わってきていて、それプラスJRとか西鉄バスの乗り継ぎとか、高校に間に合う間に合わない、中学校、小学校とかいろんなことがあるなか、一生懸命考えてきているだろうなと思っています。ご意見としていただいて、事務局の方で検討をしていただくということです。

(事務局)

先ほどの下り4便の時間を1時間程度早めていただきたいというご意見については、下り4便の表の左から4つ目に待機時間と書いているところがあります。①ー6を運行するまでに3時間41分このバスが待機するという形になっていますので、そこは1時間早めても特に問題ないかな、次の所で待機時間が1時間程度長くなるということなので、ここは可能かなという風に考えていますので、そういった形でもう一回計画をしてみたいと思っています。

(進行)

おそらく14時という意図が佐賀市内の高校から帰ってくる子供たちの時間も考慮したうえでということがあるのかなと見ていました。事務局の方で改めて検討ということですのでよろしいでしょうか。

他に三瀬線の時刻表、ダイヤについてご意見等ございましたらお願いします。

三瀬線はこれで終わらせていただきます。

次が脊振内の朝、夕の脊振山麓線、鳥羽院線、倉谷線、日中のデマンドは置いて、朝と夕の小中学生の主な利用のダイヤ、時刻についてご意見等ございましたらお願いします。

事務局から説明があったとおり、脊振山麓線の5便に2つ書かれていたり、鳥羽院線、倉谷線の4便が2段で書かれているんですけど、ここは季節によって運行する時刻が変わりますよということです。それで8月は走らないということになっています。

大丈夫ですかね。これで登下校について、特段支障があるとかがあればということですけど。こちらについては特段ご意見なしということでまとめさせていただきます。

次が日中のデマンドの話になります。資料3-1、3-2、3-3で説明があったところです。簡単に復唱すると、デマンドタクシーですので予約があった時のみ運行するというものです。バス停から広滝近辺の公共施設であったり、広滝のバス停でもいいんですが、各集落のバス停から広滝近辺の診療所なり、支所なりを目的地と定めて、あらかじめ時刻表・ダイヤを作ったうえで事前に予約をしていただいて予約があった時のみ運行する。車両は普通の5人乗りのタクシーを利用するということになっています。11月から試験運行もしたいと言われてますが、この

件については前回の会議の時に、ここではなかなか結論が出ずに、地元を持ち帰って話し合いをした方がいいのではないかとのご意見があったかと思っています。各地域での地元の意見も踏まえながらご意見がこの昼間のデマンドタクシーについてあればお願いをします。

(委員)

デマンドタクシーの件ですけど、先ほど最初の説明のところでテストをやるということで、そのテストの配布を10月16日にしますよというお話がありましたけど、実は今月18日に区長会があります。地区でもいろんな話がありましたけど、脊振の区長会でまた話をするのでその時の結果でまた説明をしますよということで、ほとんどの区長さん統一をされていると思います。したがってその前の16日にいきなり配布をすると「これは何かい」というところもありますので、いろんなタイミングもあると思いますが、ちょっとその辺りがどうかとちょっと心配しています。その前に地区に説明をすればいいんでしょうけど、説明をする資料も特になし、ちょっと困っています。

(進行)

今の意見は11月試験運行となるとスケジュール的に周知するのがきついなということですかね。事務局どうでしょうか。

(事務局)

区長さんへの文書の配送日が年間計画の中で10月は16日と何日ですよと決まっていると思います。16日の次となると10月の末ぐらいになって、周知期間がほとんどないままに11月の試験運行が始まるという形になりますので、区長さんの方から前もって配布するよりも区長会の中でいったん説明をしていただいての配布ということであれば、決まった区長さんへの配送日がありますけど脊振町の区長さんが、区長会が18日に開催されますけど、そのあとで例えば18日にお渡しするか、19日にお渡しするかなんですけど、それでもいいよということであれば、そういうことでさせてもらえればと思いますけど、いかがでしょうか。

(委員)

一般配布物と同じで特別に配るわけではないでしょう。区長会の説明を受けた後、各家庭に配布すればいいだけの話じゃないのかなと思うけど。

(事務局)

今のところ予定では16日の文書配布で配らせていただいて、18日の臨時区長会の時にこういった形で地区の方に配っていますので、地区の皆さんにも利用していただくようにお願いしますという形で想定させていただいたんですけども、今、坂井区長さんの方から言っていた、事前に区長会の後に地区に説明するときに一緒にチラシとか配れたらいいんじゃないかというお話ですけど、今、考えさせていただいているのは事前に配って周知期間というのを設けて11月1日からの実施と予定させていただきましたので、できるだけ周知の期間というのは欲しいなというところがこちらの実際の考えなんですけど、ただ必ず11月1日からしなければいけないというわけではなくて、例えば11月10日から実施するということで、18日の区長会の時に区長さんの方にチラシとかをお渡しをして16日の地区配送から送れるような形にはなりますけど、臨時区長会の説明の時に地区の方にいつもの全戸配布の時期が遅れますけど、18日以降にお配りをしていただいて、地区の皆さんに区長さんの方からも周知をしていただけたらというやり方もできるかなと考えております。

(委員)

分かりました。こっちの裁量でやります。

(進行)

事務局の方で検討していただいて、時期を遅らせるのか、今のままでいくのかというのは事務

局の方でよろしいですかね。

(委員)

(地区の)皆さんが理解をされてないので。デマンドと言ってもなかなか分からないんですよ。そういったことがあるものですから。

(進行)

分かりました。事務局よろしくお願いします。

(委員)

デマンド運行を利用される方はやはり高齢者の方かと思います。どこに委託されるか分からないですけど、例えばこの間、神埼から自宅までタクシーを利用しましたが、その時に車が普通の乗用車じゃなくて、オリンピックがあるからそれに合わせて作られた(ジャパンタクシー)というようなことで、(ドアが)スライド式なんですよ。後ろの座席も広々として乗り降りがものすごくし易かった。普通のタクシーは乗用車ですので、2人乗ったり3人乗ったりすると詰めるのも難しいですし、仮にタクシー会社と契約される時はその車(ジャパンタクシー)をなるべく利用できるような形でお話をしていただいたらと思います。

(進行)

その車両は東京のオリンピック、パラリンピックで海外からのお客さんが結構多くなるということで、ジャパンタクシーという車両になるんですけど、要はバリアフリー化ですね。そういった車両を全国的に導入されているところが多いということで、たまたまそれに乗られたんだらうと思います。その辺りは実際の運行を事業者さんと調整するときに事務局の方からできればこういった車両(ジャパンタクシー)でお願いできないかということをお願いできるといいですか。

(委員)

資料3-3なんですけど、運行時間案ということではあるんですが、将来を見据えての考えとして、(自宅方面)11時発と14時20分発となっていますが、土曜日の小中学生はこのオンデマンドを活用しての運行になると思うんですが、11時と14時20分はすごく時間が中途半端で、大体、土曜日の部活が12時半ごろに終わるんですね、だから14時20分だと弁当を持たせなければいけないし、学校の先生も14時20分まで子供たちを待機させるかという問題も出てくると思うんですが、これは案ですので実際運行することになれば、14時20分というのは時間があまりにも遅すぎるのではないかなと思います。

(進行)

待ち時間がちょっと長くないかというご意見です。

(委員)

今は実際お昼までだったら12時半ぐらいに部活が終わる。弁当は持たせないで帰っている。もし、この時間になると先生もこの時間を拘束されることになるし、学校を開けて14時20分までどこかで待たせたりとかしなければいけなくなる。

(進行)

小学生とかの利用するときに予約をしなければいけないかといったところもあろうかと思うので、その辺も含めて事務局の方からよろしいですか。

(事務局)

今、現行が12時30分に広滝発で脊振山麓とか鳥羽院の方に行くのと同じくらいの時間帯で、デマンドを導入するにしても同じくらいの時間帯で広滝から自宅方面へ帰れるようなということですかね。

(委員)

この時間帯になると学校も困られる。14時20分までどこで待たせるかという問題も出てくる。

(委員)

予約をしなければいけないでしょう。13時20分まで予約じゃないですか。仮に1時間早めると12時20分に予約。予約するのも誰がするかとか。まだ部活終わってないかもしれない。

(委員)

予約するとしたらその部活の先生が予約するという形で、そうすると先生としても終わる時間を見据えて予約されると思う。誰が予約するかとかも未成年者ですし、そこまでの管理は学校の方に任せられた方がいいと思う。14時20分という案は学校がすごく困られると思う。

(事務局)

デマンドの運行時刻を合せているのが、三瀬線からの乗り継ぎを一番に考えた乗り継ぎにさせていただいてますので、それよりもこのぐらいの時間帯（部活終わり）にあれば。こちら平日ではなく土曜日の時間帯ということでもいいですか。

(委員)

土曜日の部活はお昼まで。

(事務局)

土曜日については三瀬線からの乗り継ぎよりも、例えば部活で使う子が自宅に帰れるような優先した便を作るといったところは考えさせていただきたいと思います。今ある便の三瀬からの乗り継ぎと自宅に部活で帰る両方とかやると中々難しい場合もありますので、そこはどちらかを取るという形になるかと思っています。

(委員)

試験運行の時はあれなんですけど、実際にオンデマンドを運行されるとなった場合は、この時間ではちょっと問題かなと、あと、予約のこととかも学校と協議された方がいいかなと思います。

(進行)

この辺りも事務局の方で検討する事項が増えていますがよろしくお願いします。

(委員)

資料の3-3を見えています。支所方面の一番上の予約時間「前日まで」とありますが、時間を設定するわけでしょう。

(進行)

目安時間はあった方がいいですね、前日の何時までと。

(委員)

それと連絡先は説明書に入ってはくると思うんですけど、ちなみに連絡先はどこになりますか。

(進行)

事務局から説明はあるかと思いますが、私の今までの経験上でいくと大体運行していただく事業者、一般的にはタクシー事業者が多いかなと思います。その番号に電話をかけて予約をする。

(事務局)

今、お話がありました予約が前日までとなっていますけど、前日の何時ぐらいまでにすればいいのかというのは、皆様に改めてお知らせする際には、時間帯のところまで含めた所で作らせていただきたいと考えております。予約の電話をする先につきましてはデマンドタクシーを実施する事業者の方に予約をしていただいたり、どこのバス停とか登録をしていただいた所でご連絡をしていただく形になるかと思います。

(委員)

ありがとうございました。

(委員)

オンデマンドのところで広滝周辺までとなっているんですけど、極端な話、神埼駅までとか神埼のある病院までとか、そういうことは考えられませんか。そうしたら利便性うんと上がるし、乗り手も増えそうな気がするんだけど。どうでしょうか。

(事務局)

今回、再編を考える前提というところは維持をしていくというところが、今のところ必要最低限なところと考えております。このデマンドタクシーで脊振の方から真っ直ぐ神埼の方まで行けるというのは、利便性とかいうところはもちろん考えられるところでありますけど、今、現段階ではデマンドを利用して神埼方面に行かれる方は、広滝の方から乗り継いでバスを利用して神埼方面まで行っていただくというところを想定しております。その分に合わせてデマンドの運行時間帯とかバスの乗り継ぎの時間帯とかを考えさせていただいております。まず、現行の維持というところで確保をしていくところで乗り継ぎの方を想定させていただいております。ただ、これがこのまま変わらず続いていくというわけではなくて、その都度その都度ご意見等をいただきながら一番いい形というところを考えさせていただければと考えております。

(進行)

確かにですね、デマンドタクシーを神埼の中心の方に運行させるというのは、利用される方にとっては便利なのかなと思いますけど、一方で三瀬・神埼線という定時定路線を運行する予定になっていますので、その辺りで利用者がどっちに乗るのかですね、そうすると競合するという状態になっちゃうので、うまく利用者を増やしていくとか、国の補助とかをうまく適用していくとか、いうことを考えればなかなか神埼市内まで持つて行くというのは、現実的には厳しいのかなという印象はあります。今後、その辺りは利用状況とか、皆さんのニーズとかそういうところを踏まえて、また、こういった検討の場で話し合いができればと思います。

デマンドタクシーの件で他にございますか。

それではこの日中の分については、試験運行をやって、どういう状況なのか事務局の方でも確認をされると思いますけど、とりあえず今日のところは、日中はデマンドタクシーの方向で進めていくということで大丈夫ですか。

(委員)

乗車申請をしておかないと乗れないんですね。

(進行)

まず事前の登録が必要となりますので、お名前、住所、電話番号などを登録用紙に記入していただいて、そのやり取りが神崎市になると思いますが、事前に私はこのデマンドタクシーをしていますよという事前の登録をしていただいたうえで、実際に利用するときは電話が必要です。

(委員)

(登録) しておかないと乗れないということですね。

(進行)

そういうことです。

(委員)

途中で見かけても乗れないということですね。

(事務局)

事前に予約をしていただいて、事前に登録をした方でないと乗れないということです。

(委員)

登録だけしておけばいいですね。

(進行)

他の自治体さんでデマンドタクシーを結構やられているんですけど、登録だけやっている人は結構多いです。実際使われないという方もいます。

(委員)

これはあくまでも市内住民の方だけですよね。孫が来るから申請をしたいという時はどうなりますかね。高校生になって一人でおじいちゃん、おばあちゃんのところに行く時など、そういった時の利用はできますか。

(事務局)

今回、試験運行は基本的に脊振町在住の方を対象に試験運行させていただきますけど、松梅の方でやられているデマンドタクシーとかは、観光で利用される方は特別に利用できるとかあったりしますので、また、考えていく中でそういった形で帰省される方が利用できるだとか、そういったところは検討させていただきたいと思います。

(委員)

お願いがあります。一つはJ R、西鉄バスのダイヤ変更時の対応。それからAコース、Bコース、Cコースとありますが、具体的にどこを回ってどう行きますよというのを親切な説明をしていただいたらと思います。それからもう一つですけど、これ見てみますと脊振町内の買い物、通院という風な言葉が出てきておりますが、買い物客はそれぞれの場でいろいろなことがなされていると思います。今日のこの対応からいきますと神崎まで行ってくださいよということになるんじゃないかなという感じがありますけれども、やはり、高齢化をすればするほど地元での買い物というのにも必要になってくるんじゃないかなという感じがします。そういうことで、いろいろ複合施設の建設等々の中でご検討もいただいているということでございますが、改めて、買い物。脊振を言いますと買い物弱者なんですよ。やはり相当時間をかけて買い物に行って、帰りは帰りの時間帯に合わせて帰らなければならないというご苦労もあろうかと思っておりますので、そういう意味での買い物、場所の対応等々も視野に入れておいていただきたいという風に思います。それから神崎、千代田に巡回バスが行っていますね、この今現在の利用状況はどうなんだと。でないと今具体的に出されておりますが、脊振が極端に利用者数が悪かった、採算が合わないからもう少し減らさないといけないのではということも出てくるんじゃないかと、そういう参考の意味で千代田、神崎の巡回バスの利用状況と、特に脊振の場合は人口が1, 200前後と非常に少ない中での利用になります。千代田、神崎になりますとかなりの数の中での利用ということもございまして、できたら併せてそういうことも教えていただいたらありがたいと思います。以上3点ですけどよろしく願いしておきます。

(進行)

私からは最初の西鉄バスのダイヤ改正の話ですけど、佐賀市の三瀬の会議にも入っていますの

で、一言コメントしますが、ダイヤ改正があった場合はそれに応じて可能な限り三瀬線のダイヤも修正したなと思っています。ただ、限られた台数で運行していますので、どこまで合わせられるかというのはその時になってみないと分かりません。今、現時点でも西鉄バスとの乗り継ぎがすごい間が空いているとか、極端に何分しかないとかいうようなところについては、西鉄バスの方に西鉄バスの時刻を変えてくれないかとお願いはしています。そういった状況で西鉄バスとも連携をしながら皆さんに使いやすいようなダイヤに、路線に、バスにしていきたいと佐賀市と神崎市と考えているところです。他の2点は事務局の方からお願いします。

(事務局)

脊振の通学バスのそれぞれAコースとかはどのような風な形で回るかというところをご説明させていただきます。チラシの方で分かり易くこのルートを通りますというところを時刻表と合わせてチラシの方は周知をさせていただきたいと思います。

それと、巡回バスの現在の状況なんですけど、今、神埼町と千代田町の方で巡回バスを運行しております。利用状況が平均1便当たり2.何人というところで、利用者の数からいうと脊振の通学バスが学生さんの利用が多いので、全体的な利用者の延べ人数でいえば脊振の方が利用者が多い状況です。資料の方も次回の会議で巡回バスの現在の実績等について準備させていただきたいと思います。

(事務局)

(資料2の)表の方で書かせてもらっているのは(買い物&通院)、今年度、乗降調査をしたわけなんですけど、その時に乗車された方、利用された方にどういったご利用で乗車をされていますかと聞き取りをした内容をここに書かせてもらっている状況です。ですので、その時に乗られていた方が例えば通院ですよとか、買い物ですよという聞き取りした内容をこちらの方に書かせていただいております。脊振町の買い物、商店がなくなってということでもいろいろありますので、そこはこのバスとは別に検討させていただければと考えていますのでよろしくお願いします。

(進行)

試験運行するときは乗られた方にアンケート調査をされるということですので、皆さん是非利用していただいて、率直なご意見を聞かせいただければなと思います。

それではここで時間がかなり経過していますので、協議の方を閉めさせていただきたいと思います。

ここで私の司会は終わらせていただいて、あと事務局から今後のスケジュールなど説明がありますので、最後までよろしくお願いします。

4 その他(事務局)

○次回会議の日程 11月で会長と日程を調整し委員の方へ通知する。

5 閉会